

第6学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

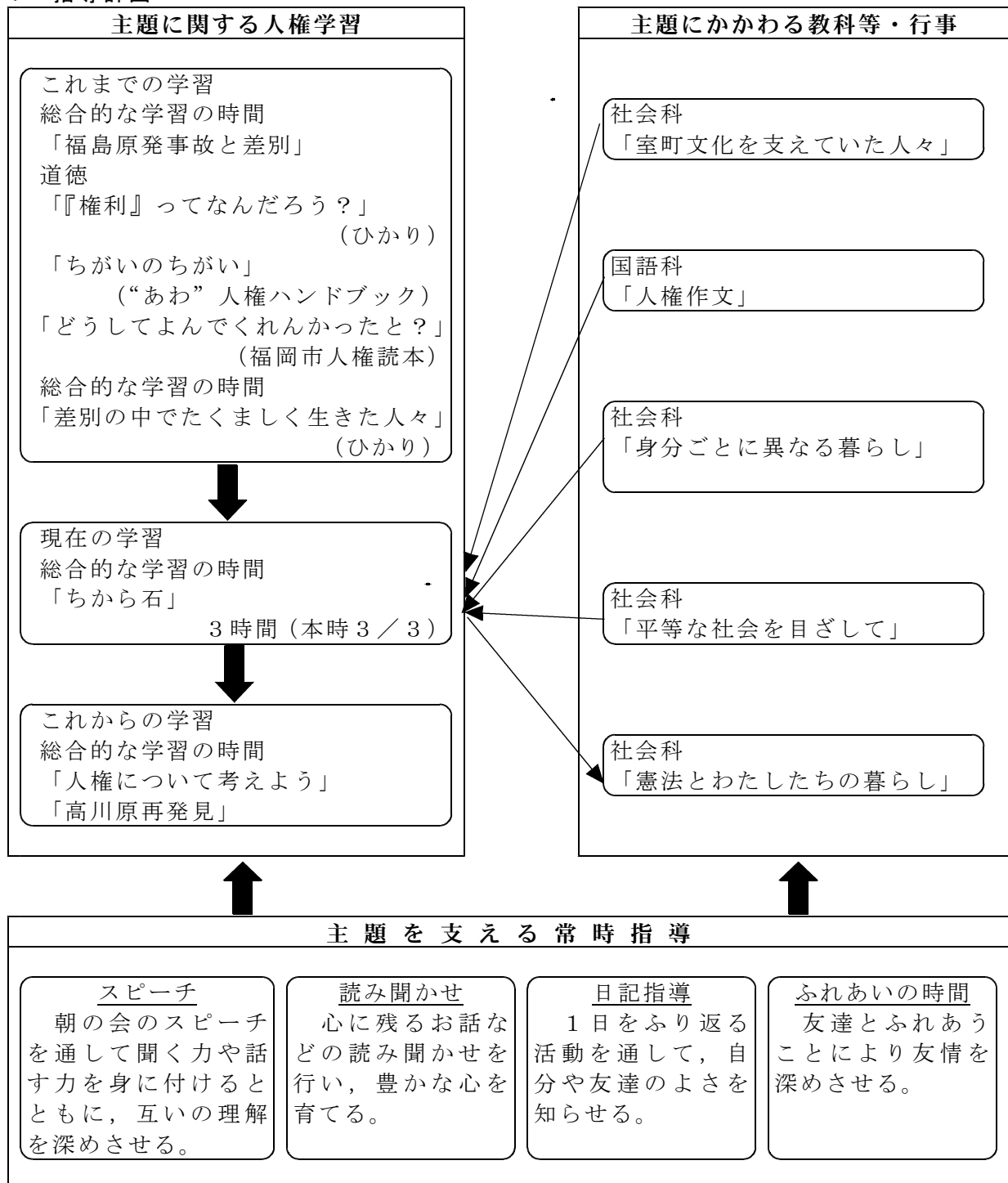
1 主 題 ふるさとに誇りを

2 主題設定の理由(省略)

3 ねらい

仲間とつながり、たくましく生き抜いてきた人々の生き方に共感させ、ふるさとを誇りに思い、仲間とともに差別を解消し、すべての人の人権が尊重される社会にするためにできることを実践していこうとする態度を養う。

4 指導計画



5 本時の学習

(1) 目標

差別に立ち向かった人々の思いを理解し、差別のない社会にするために自分たちにできることを実践していこうとする態度を養うとともに、ふるさとに誇りをもつことができるようにする。

(2) 個人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 これまでの学習についてふり返り、本時の学習課題をつかむ。	○ これまでの学習をふり返らせながら、本時の学習への方向付けをする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 今も神社に置かれている「ちから石」は私たちに何を語っているのだろう </div>	
2 若者たちを迎えた村人たちの気持ちについて考え話し合う。	○ 共に支え合って取り組んでいくことが、差別解消へ向けての大きな原動力になることを押さえる。
3 村人たちの思いを話し合う。	○ 石を、反差別の象徴ととらえ、将来の展望につなげていった村人の思いや、誇り高く生きることのすばらしさに気付かせる。
4 偏見や差別のない明るい未来の実現のために、自分のこれからの生き方について考える。	○ つらい思いをしている友達に寄り添い、ともに差別に立ち向かおうとする意欲を高めさせる。

(4) 評価

- ・ 現代に残る差別を知り、たくましい生き方に共感することができたか。 【知識的側面】
- ・ 将来への明るい展望をもってこれからの生き方について考え、差別をなくしていこうとする意欲が高まったか。 【価値的・態度的側面】
- ・ 友達の思いを受け止め、自分の思いを表現することができたか。 【技能的側面】